



坂下東小学校だより

坂下ひがし

坂下東小学校

令和4年11月14日

No. 14

秋空の元のマラソン

11月1日（火）に「さわやかマラソン」を実施しました。ほぼ無風で絶好のマラソン日和でした。学習発表会から間もないこともあって、十分な練習期間はとれませんでした。子どもたちは、保護者の皆様の応援にも応えようと一生懸命に走っていました。途中で諦めようとしている子に「もう少しだよ」と声をかける友達も見られました。上位を競うことも大切なことですが、マラソンは自分をみつめることでもあります。自分のペースをつかみ、苦しさにも耐えながら頑張り抜ける自分自身を考える時間でもあります。順位ではなく、子どもたちの内面の成長を感じ取り、励ましていただけるとありがたいです。



また、当日は授業参観も行いました。なかなか参観していただく機会が設けられず申し訳ありませんでした。授業参観用に特別の授業をするのではなく、普段の学習の様子を見ていただくことが重要だと考えています。子どもたちが学習に取り組む様子はどうか映ったのでしょうか。学校での様子をみてどうか子どもたちに声をかけてください。

新型コロナ感染を防止しつつの学校行事が続きました。今後もこのような形の学校運営が求められると思います。「元に戻る」のではなく状況の変化の中で「さらに進化する」ことを目指していきます。保護者の皆様のご協力をお願いします。



学校運営協議会から

11月7日に学校運営協議会がありました。学校運営について学校運営委員になった方々からご意見をいただき、学校運営に反映させる会です。

今回は次年度に向けての話し合いがされました。まだ半年あまりではありますが、今年度の成果と課題を明らかにし次年度への大まかな方針について協議をしました。

成果 ○ICT活用 ○地域連携の充実 ○コロナ禍での学校行事の実施

○落ち着いた学校生活 ○不登校の減少

課題 ○授業改善 ○人間関係の醸成 ○読書

をあげました。

来年度へ向けては、①主体的な学びのある授業づくり、②体験活動の重視を考えています。学校は学力向上が最大の使命です。目に見えない学力も含めて学び続ける児童を育てる授業づくりをします。そのためにも授業改善は必須です。親切すぎる授業はしません。子どもが考え、行動し、振り返る授業にしていきます。

体験活動は、新型コロナがあつて難しいですが、地域に貢献できる体験活動を重視します。また達成感のあるできた喜びのある体験活動を考えていきます。

Jアラートが鳴ったら

ミサイルの報道がしばしば見れるようになりました。近県では「Jアラート」が流れることもありました。学校内にいれば、緊急避難の態勢をとることができます。しかし、通学途中となると、その把握が難しいです。

子どもたちには、どんな非常事態が生じても冷静に避難行動がとれるよう指導しています。「近所の家に助けを求める」「頭を守る」ことは様々な訓練と同じです。ガラスが割れるのでガラスから離れるということも避難訓練で学んでいます。

ただし、実際には経験していないことなので定着しにくいのが現実です。学校でも再度指導しますが、各ご家庭でも団らんの話題にしてください。

P T A 奉仕作業

11月12日（土）にP T A奉仕作業をしていただきました。降雪の時季が近づいているので雪囲いと普段は手が行き届かない窓ガラス拭きやトイレ掃除をしていただきました。環境整備ができて助かりました。ありがとうございました。



